



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

「全員が給食を食べる環境づくりを進める」!

—中学校給食の改善で佐藤教育長が答弁—



一般質問する岡野長寿市議

6月20日午後3時すぎから、岡野長寿市議、三浦とおる市議が一般質問を行いました。市長、教育長が、どう答えたか、「報告します」。

小学校のような給食を中学でも!

デリバリーからの転換を求め、岡野市議の質問に教育長は「浦崎中で親子方式給食を実施することについては、保護者から好意的に受け止められている」「他の中学校への親子方式の導入については、法的手続きや給食施設の整備計画の検討を進めていき、それぞれの方式を組み合わせる形で、全員が給食を食べる環境づくりを進める」と答弁。

渋滞や橋代、因島く市民病院バス線、高校生の通学補助は?

市長答弁では、渋滞の緩和について「堤線の道路改良工事に着手した」ことを述べたものの、いつまでに完成するのかについては明言を避けました。橋代については、適当な時機に国への要望活動を行うと述べ、個人的な補助については、妊婦検診への交通費補助の実績を述べるだけ、島嶼部から市内中心部への通学定期代補助やバス路線改良にも応じる気配はありませんでした。

国民健康保険料をどうする!

今年度の国保料について「6月27日開催の国保運営協議会で決定される。令和6年の前年までは、基金を活用し、急激な保険料増加にならないよう緩和措置を講じる」と今後保険料が上昇するおそれがあることを否定できず、それなのに「市独自の保険料軽減は考えていない」と答弁。



一般質問する三浦とおる市議

消費増税前提の幼児教育無償化では、副食費負担や事務負担が増えないか?

三浦市議は、消費税増税とセットの法案である「幼児教育無償化の問題」を問いました。市長は「10月1日から施行する。延期は想定していません」と答弁。三浦市議が「これまで保育料の減免を受けていた世帯に新たな負担が生じないか」と問いましたが、市は「新たな負担はない」と答え、副食費の徴収に伴う事務量の増加に対しては、事務費の加算措置を考えていると答弁しました。

高校生まで医療費助成を拡げろべき!

公明党も、あわてて質問に追加?

三浦市議が、次に問題としたのは「子ども医療費助成制度の高等学校卒業までの拡充」を求め、質問を行いました。質問事項はあらかじめ、全ての議員に配られるのですが、公明党の議員は、質問事項の中に入れていないのにも関わらず、同じ趣旨の質問を行いました。共産党市議団の「子ども医療費助成制度」の拡充を求める市民の声を質問を横目で見ると、慌てて質問したものでないでしょう。市長は「多額の予算が伴うので検討をしてみる」と返答することに決めました。

6月も、19日行動!

—アベ政権倒すまで—



「戦争法廃止を求める尾道総会」は、全国津々浦々で繰り広げられている19日行動を、この日も駅前で行いました。パレードの先頭には、Aさんの旗が、日本国憲法の前文や9条の大原則を訴えた。市民は、「日本国民は、恒久の平和を念願し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」という戦後原典に立ち返って、希望をたくらうと、決意をかためた。岡野市議（写真右端）